

2学期始業式あいさつ

令和5年8月25日（金）

皆さんおはようございます。

2, 3年生は今週の火曜日からすでに学校が始まっていますが、今日から全学年揃っての2学期が始まります。今朝、暑い中、皆さんが汗をかきながら元気に登校してくる姿を見て安心しました。

まず最初に報告です。この夏休みの間、創立120周年記念事業として教育環境の整備を進めてもらいました。中庭のオムニコートは人工芝の張替えによって、見違えるようになりました。早速ソフトテニス部や硬式テニス部が練習で使ってくれています。東館をはじめとした一部トイレの洋式化や、正門と通用門の塗装もしてもらいました。また、これまでエアコンがなく、夏になると大変な思いをしてきた教科準備室に新たにエアコンを設置してもらいました。この場を借りて、皆さんと共に本校の同窓会である楠葉会に感謝したいと思います。

さて、1学期の終業式で、この夏休みは、将来振り返った時に、「あの時の夏休みは〇〇に真剣に打ち込んだ。だから今がある」といえるような夏休みにしてほしいと言いましたが、皆さん、夏休みはどうでしたか？部活動や合宿、公式戦、課題研究、3年生は受験勉強、自分の課題に真剣に取り組むことができましたか？

今年の夏は本当に暑い夏でしたが、スポーツの世界でも負けにくいぐらい熱い試合がたくさんありました。一昨日、慶応高校が107年ぶりに優勝し、連覇を狙った仙台育英高校があと一步届かなかった夏の甲子園、なでしこジャパンが躍動したサッカー女子ワールドカップなど、感動する試合がたくさんありました。他にも世界水泳、世界陸上、今日から始まるバスケットボールのワールドカップ、そして、9月にはラグビーワールドカップもあります。

スポーツには、「あと一步届かなかった」という場面がよくあります。私自身も皆さんの頃は高校球児で、毎日白球を追っていました。「あと一步で」という経験を何度もして、悔しかったり、情けなかったり、そんな記憶が残っています。「あと一步の差はとても大きい。でも、そのあと一步を埋めるための努力がとても大切だ」ということを学びました。その経験は今でも大きな財産になっています。

では、「あと一步」を埋めるためにはどうすればいいのでしょうか。

「レジリエンス (resilience)」という言葉を知っていますか？もともとは心理学用語ですが、近年のコロナ禍によって再び注目されている言葉です。直訳すれば回復力、復元力という意味ですが、「困難や逆境に直面した時、それを乗り越える力」という意味で使われています。つまり、あと一步届かなかった時に、それを乗り越えられるかどうかは「レジリエンス」が大きなカギを握っているということです。この「レジリエンス」という能力は生まれつきのもものではありません。たくさん失敗をして耐性を高めることで鍛えることができます。

ただ、私たちのような社会人になると失敗はなかなか許してもらえません。大きな失敗をすると、給料を減らされたり、最悪の場合は失業してしまう場合もあります。でも、高校生は、人に迷惑をかけない限りは、失敗してもほとんどの場合、許されます。

2学期は、9月に体育祭、探究チャレンジの中間発表、10月に修学旅行、遠足、多くのクラブでは秋の公式戦など、行事や大会が目白押しです。そして、3年生はもちろん受験に向けての正念場です。

あと一步届かず、失敗することもあると思います。でも失敗することを恐れず、チャレンジしてください。その経験が皆さんのレジリエンスを鍛えてくれます。竹のよ

うなしなやかな折れない心を持って、「あと一步を埋める努力」を大切にしてください。

最後にもう一つ、あとで表彰がありますが、この夏インターハイの男子走高跳で3位になった生徒と、SSHで全国大会に出場したチームが校長室に報告に来てくれました。感想を聞いてみると、驚いたことに共通していました。それは「楽しかった」という感想です。

皆さん、「あと一步を埋める努力」を大切にしながら、「楽しむこと」を忘れずに2学期も頑張ってください。期待しています。